



平成31年5月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年4月11日

上場会社名 Shinwa Wise Holdings株式会社
 コード番号 2437 URL <http://www.shinwa-wise.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中川 健治

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 益戸 佳治

TEL 03-5537-8024

四半期報告書提出予定日 平成31年4月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年5月期第3四半期の連結業績(平成30年6月1日～平成31年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年5月期第3四半期	2,399	52.6	24		59		80	
30年5月期第3四半期	1,572	28.8	222		268		226	

(注) 包括利益 31年5月期第3四半期 93百万円 (%) 30年5月期第3四半期 223百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年5月期第3四半期	12.34	
30年5月期第3四半期	36.20	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年5月期第3四半期	4,654	1,866	39.9	282.17
30年5月期	6,120	1,906	30.7	293.65

(参考) 自己資本 31年5月期第3四半期 1,858百万円 30年5月期 1,878百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年5月期		0.00		7.20	7.20
31年5月期		0.00			
31年5月期(予想)				7.20	7.20

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年5月期の連結業績予想(平成30年6月1日～平成31年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,000	7.9	74		60		50		7.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年5月期3Q	7,439,900 株	30年5月期	7,250,900 株
期末自己株式数	31年5月期3Q	852,800 株	30年5月期	852,800 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年5月期3Q	6,508,883 株	30年5月期3Q	6,253,308 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成30年6月1日～平成31年2月28日）におけるわが国の経済は、雇用や所得環境の改善が継続し、また各種政策の効果もあって、緩やかな回復基調にありました。しかしながら、米中貿易摩擦の影響や世界経済の不確実性の問題、金融資本市場の変動懸念や世界的な地政学リスクの影響を受け、先行きは不透明な状況にあります。

このような環境のもと、当社グループは、オークション関連事業において高額美術品を中心とした優良作品のオークションへの出品及び富裕層を中心とした美術品コレクターのオークションへの参加促進に努めました。また、エネルギー関連事業では低圧型太陽光発電施設販売への取り組みの他、マレーシアにおけるPKS事業の見直し等、グループ全体の安定的な収益の早期確保に向けた体制の構築に努めました。

セグメントの業績は次のとおりです。

①オークション関連事業

当第3四半期連結累計期間は、取扱高3,597,012千円（前年同期間比40.8%増）、売上高1,754,157千円（前年同期間比77.4%増）、セグメント利益79,796千円（前年同期間は60,500千円のセグメント損失）となりました。

種別の業績は次のとおりです。

種 別	第30期第3四半期連結累計期間							
	自 平成30年6月1日 至 平成31年2月28日							
	取扱高 (千円)	前年比 (%)	売上高 (千円)	前年比 (%)	オークション 開催数	オークション 出品数	オークション 落札数	落札率 (%)
近代美術オークション	722,491	△26.6	192,057	△3.5	3	315	250	79.4
近代陶芸オークション	363,890	43.2	70,790	43.2	3	604	553	91.6
近代美術PartⅡオークション	89,335	△49.4	21,009	△50.4	3	639	527	82.5
その他オークション	1,012,876	97.9	137,121	31.5	8	2,367	1,470	62.1
オークション事業合計	2,188,592	13.6	420,979	6.6	17	3,925	2,800	71.3
プライベートセール	1,403,697	133.1	1,315,651	133.9				
その他	4,722	△81.7	17,526	△44.4				
オークション関連 その他事業合計	1,408,419	124.2	1,333,178	124.5				
オークション関連事業合計	3,597,012	40.8	1,754,157	77.4				

(注) 1. 取扱高の前年比と売上高の前年比の乖離の大きな要因のひとつに、商品売上高の増減があります。商品売上高は、オークション落札価額に対する手数料収入、カタログ収入、年会費等と同様に売上高を構成する要素のひとつであり、在庫商品を販売した場合、その販売価格（オークションでの落札の場合には落札価額）を商品売上高として、売上高に計上することとしております。

2. その他オークションは、出品の状況により随時開催しております。

3. オークション関連事業の事業構造として、オークションが第2四半期及び第4四半期に多く開催される傾向があるため、四半期連結会計期間別の業績には季節的変動があります。

i) オークション事業

当第3四半期連結累計期間は、オークション会場改装工事及びShinwa Priveの画廊スペース新設工事を行っており、オークションの開催回数は、前年同期より1回少ない17回でした。内訳は、近代美術オークション、近代陶芸オークション、近代美術Part IIオークション及びBags/Jewellery&Watchesオークションを各3回、ワインオークションを2回、西洋美術オークションの他、新たなジャンルとしてMANGAオークション、またリニューアル記念特別オークションとして「Y氏コレクション - ART JUNGLE」を各1回です。

近代美術オークションは、前年同期比で1開催少なかったため、前年同期比で出品点数32.7%減（第2四半期連結累計期間との比較では6.6ポイント改善）、落札点数34.2%減（第2四半期連結累計期間との比較では7.1ポイント改善）となりましたが、エスティメイト下限合計額に対する落札価額合計額の比率は平均で128.8%と前年同期比で平均4.4%以上上昇して推移しており、平均落札単価も前年同期比で12.7%増加いたしました。

近代陶芸オークションは、前年同期比で出品点数11.9%増（第2四半期連結累計期間との比較では2.0ポイント改善）、落札点数7.0%増（第2四半期連結累計期間との比較では4.1ポイント改善）となりました。当第3四半期連結累計期間も古美術の取り扱いが引き続き好調であったことから、平均落札単価は前年同期比で33.0%増加し、また、エスティメイト下限合計額に対する落札価額合計額の比率も平均で161.8%と高水準で推移いたしました。

近代美術Part IIオークションは、前年同期比で1開催少なかったため、前年同期比で出品点数38.4%減（第2四半期連結累計期間との比較では7.1ポイント改善）、落札点数43.6%減（第2四半期連結累計期間との比較では8.1ポイント改善）となりました。平均落札単価は前年同期比で10.0%減少（第2四半期連結累計期間との比較では1.3ポイント改善）し、エスティメイト下限合計額に対する落札価額合計額の比率は、平均134.2%で推移いたしました。

その他、ワインオークションも引き続き好調を保った他、当第3四半期連結累計期間は、新たなジャンルとしてMANGAオークションを1回開催しました。また、オークション会場リニューアル及びShinwa Priveの画廊スペース新設記念特別オークションとして「Y氏コレクション - ART JUNGLE」を開催したところ、取扱高は7億円に迫り、落札率も92.9%となるなど高い実績を上げました。

ii) オークション関連その他事業

プライベートセール部門では、新たにShinwa Priveの画廊スペースを設け、お客様のニーズにきめ細やかに対応できる体制を整え、高額作品の積極的な取り扱いに努めました。当第3四半期連結累計期間は大型案件の成約があったため、前年同期との比較で、取扱高は133.1%増、売上高は133.9%増とともに大幅に増加いたしました。

その他、高額ダイヤモンド販売事業は、引き続き安定した売上高で推移いたしました。

②エネルギー関連事業

50kW級の低圧型太陽光発電施設販売事業では、利回り商品としての需要により、当第3四半期連結累計期間は、18基を販売いたしました。しかしながら、経済産業省による電力の買取価格は継続的に引き下げられており、収益目線で投資対象となる新たな案件の確保が難しくなっております。

マレーシアにおけるPKS事業においては、当第3四半期連結累計期間に1万トン販売するとともに、仕入原価等の見直しに取り組んだ結果、赤字幅は縮小しましたが、依然改善が必要な状況であり、継続して取り組んでまいります。

その他、子会社保有の太陽光発電施設による売電事業等により、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比8.9%増の593,697千円、セグメント損失は、48,476千円（前年同期間は167,807千円のセグメント損失）となりました。

③その他

ウェルスマネジメント分野における米国テキサス州の中古不動産物件紹介事業は、当第3四半期連結累計期間は9件の販売実績となりました。その他、ミャンマー連邦共和国でのマイクロファイナンス事業は、順調に推移しております。また、各事業の販売費及び一般管理費の見直しを行う等、グループ全体の利益体質化に向けた改善に取り組みました。

以上により、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高2,399,341千円（前年同期比52.6%増）、営業損失24,939千円（前年同期間は222,193千円の営業損失）、経常損失59,291千円（前年同期間は268,518千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失80,300千円（前年同期間は226,348千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、4,654,670千円となり、前連結会計年度末と比べ1,466,150千円減少いたしました。その主な内訳は現金及び預金の減少1,022,324千円、オークション未収入金の減少242,295千円、売掛金の減少295,970千円と前渡金の減少235,673千円と商品の増加334,835千円であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、2,788,301千円になり、前連結会計年度末に比べ1,425,542千円減少いたしました。その主な内訳はオークション未払金の減少411,646千円、短期借入金の減少613,061千円と長期借入金の減少（1年内返済予定を含む）170,379千円とその他流動負債の減少92,446千円であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,866,369千円になり、前連結会計年度に比べ40,607千円減少いたしました。その主な内訳は資本金の増加59,361千円、資本剰余金の増加59,361千円と利益剰余金の減少126,367千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

オークション関連事業の事業構造として、オークションが第2四半期及び第4四半期に多く開催される傾向があるため、四半期連結会計期間別の業績には季節的変動があります。当該季節的変動を前提として連結業績予想を算出しており、第3四半期の連結業績も想定通りであるため、平成31年1月10日の「平成31年5月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想値と実績値との差異及び平成31年5月期通期連結業績予想値の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成31年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,103,966	1,081,641
売掛金	420,699	124,729
オークション未収入金	269,475	27,180
商品	1,226,671	1,561,506
前渡金	393,484	157,811
その他	219,869	207,142
貸倒引当金	△9	△2
流動資産合計	4,634,158	3,160,010
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,853	69,661
機械装置及び運搬具(純額)	906,273	863,092
土地	122,960	122,960
建設仮勘定	36,466	-
その他(純額)	12,733	31,057
有形固定資産合計	1,083,287	1,086,771
無形固定資産		
ソフトウェア	12,791	10,015
無形固定資産合計	12,791	10,015
投資その他の資産		
関係会社株式	70,600	70,600
その他	335,331	342,651
貸倒引当金	△15,347	△15,378
投資その他の資産合計	390,583	397,873
固定資産合計	1,486,662	1,494,660
資産合計	6,120,821	4,654,670
負債の部		
流動負債		
買掛金	99,463	57,639
オークション未払金	498,114	86,468
短期借入金	1,966,500	1,353,438
1年内償還予定の社債	44,000	44,000
1年内返済予定の長期借入金	240,672	104,232
未払法人税等	44,047	29,144
賞与引当金	11,425	6,426
役員賞与引当金	6,739	-
その他	296,255	203,809
流動負債合計	3,207,216	1,885,158
固定負債		
社債	84,000	62,000
長期借入金	235,412	201,473
退職給付に係る負債	33,600	35,850
長期割賦未払金	557,378	516,933
その他	96,237	86,886
固定負債合計	1,006,627	903,143
負債合計	4,213,844	2,788,301

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成31年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,073,780	1,133,142
資本剰余金	680,020	739,381
利益剰余金	349,607	223,240
自己株式	△221,063	△221,063
株主資本合計	1,882,345	1,874,701
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△3,569	△15,995
その他の包括利益累計額合計	△3,569	△15,995
新株予約権	3,419	-
非支配株主持分	24,781	7,663
純資産合計	1,906,976	1,866,369
負債純資産合計	6,120,821	4,654,670

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成30年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年6月1日 至平成31年2月28日)
売上高	1,572,556	2,399,341
売上原価	968,786	1,701,650
売上総利益	603,770	697,690
販売費及び一般管理費	825,964	722,629
営業損失(△)	△222,193	△24,939
営業外収益		
受取利息	304	479
未払配当金除斥益	137	137
デリバティブ評価益	2,023	684
貸倒引当金戻入額	440	-
法人税等還付加算金	1,423	75
受取査定報酬	-	308
その他	956	469
営業外収益合計	5,285	2,155
営業外費用		
支払利息	25,442	23,941
支払手数料	21,190	9,694
為替差損	4,918	2,871
その他	57	-
営業外費用合計	51,609	36,508
経常損失(△)	△268,518	△59,291
特別利益		
退職給付引当金戻入額	1,320	-
新株予約権戻入益	-	2,854
特別利益合計	1,320	2,854
特別損失		
固定資産除却損	680	157
減損損失	8,271	-
事務所移転費用	12,299	3,510
訴訟関連損失	-	5,200
その他	-	370
特別損失合計	21,250	9,238
税金等調整前四半期純損失(△)	△288,448	△65,675
法人税、住民税及び事業税	64,413	42,213
法人税等調整額	△124,991	△27,930
法人税等合計	△60,578	14,282
四半期純損失(△)	△227,870	△79,958
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,522	342
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△226,348	△80,300

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年6月1日 至 平成30年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年6月1日 至 平成31年2月28日)
四半期純損失(△)	△227,870	△79,958
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	4,335	△13,080
その他の包括利益合計	4,335	△13,080
四半期包括利益	△223,535	△93,039
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△221,656	△92,726
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,879	△312

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、新株予約権の行使により資本金が59,361千円増加、資本剰余金が59,361千円増加いたしました。これにより当第3四半期連結会計期間末において、資本金が1,133,142千円、資本剰余金が739,381千円となっております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年6月1日至平成30年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 財務諸表計上額
	オークション 関連事業	エネルギー 関連事業	計				
売上高	988,987	545,101	1,534,088	38,468	1,572,556	-	1,572,556
セグメント 利益又は損 失(△)	△60,500	△167,807	△228,308	6,114	△222,193	-	△222,193

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、海外不動産事業、医療機関向け支援事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「エネルギー関連事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては8,271千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年6月1日至平成31年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 財務諸表計上額
	オークション 関連事業	エネルギー 関連事業	計				
売上高	1,754,157	593,697	2,347,854	51,486	2,399,341	-	2,399,341
セグメント 利益又は損 失(△)	79,796	△48,476	31,320	27,030	58,350	△83,289	△24,939

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、医療機関向け支援事業、海外不動産事業及びマイクロファイナンス事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△83,289千円であります。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。